

2025 年度（第 30 回）東北ジュニアゴルフ選手権競技（11 歳以下の部）
参加にあたっての心構え

ジュニアゴルファーのエチケット・マナーが悪いなどの苦情が度々寄せられております。
ゴルフをする上でエチケット・マナー・ルールを守ることはゴルファーの義務です。エチケットの重大な違反は、競技失格となる場合もあります。

特にジュニアゴルファーは感謝の気持ちをもって日頃からプレーしなければなりません。
スコア重視になりがちですが、マナー・エチケットを守ってこそ、将来性ある強いゴルファーになります。普段のプレーから気を付けて、競技に参加してください。

【具体的な苦情】

- プレーが非常に遅い
→ プレーが遅いという苦情は非常に多いです。自分の番になったらすぐに打てるように、準備をしながらプレーすること。
- 挨拶がない。
→ 大きな声で必ず挨拶をすること。呼ばれたら返事も大きな声で。
- 通常プレーや練習ラウンドで球を 2 球以上打つ。目土を行わない。ボールマークを直さない。
→ 他のプレーヤーの迷惑となります。1 球でプレーすること。
必ず目土袋をもってプレーすること。ボールマークも丁寧に直すこと。
- 同伴競技者の球探しをしない。自分のプレーだけになっている。
→ ボールの行方はみんなで見て、球探しも協力して行うこと。
- ゴルフバック・クラブを自分で運ばない。
→ 自分で運搬すること。カートの積み下ろしも自分で行うこと。
- 残った目土袋の目砂をラフやコース内にまき散らす
→ 所定の場所に必ず戻すこと。
- スコアカードを書いてこない。アテスト会場でスコアを思い出すのに非常に時間がかかる。
→ スコアは毎ホール終了後にお互いに確認して記入すること。

これらはごく一部です。

東北ジュニア選手権競技においては、これらマナー・エチケットに違反する選手がいる場合、厳重に対処いたします。施設の利用については 1 名のマナー違反でも連帯責任として使用を禁止します。

【ご父兄の皆様へ】

ジュニアゴルファーの育成には、ご父兄の方々の日頃の指導が非常に重要となります。
普段の生活、プレーの態度が競技の際、そのまま表れます。
素晴らしいゴルファーを育成するため、何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。